

# 第3回海陽ジュニアカップ The 3rd Kaiyo Junior Cup

日程 2013年10月12日(土) プラクティス、13日(日) 本戦  
共同主催 (公財)愛知県都市整備協会、愛知県ヨット連盟  
種目 国際OP級Aクラス(上級者・中級者)、国際OP級Bクラス(初級者)

## 帆走指示書

### 1. 規則

1-1 本レガッタは「セーリング競技規則 2013-2016」(以下RRS)に定義された規則を適用する。

### 2. 競技者への通告

2-1 競技者への通告は、管理室南西側の公式掲示板に掲示する。

### 3. 帆走指示書の変更

3-1 帆走指示書(以下、指示)の変更は、それが発効する当日の08:30までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

4-1 陸上で発する信号は、管理室南西側の信号柱に掲揚する。

4-2 陸上で回答旗が掲揚された場合、RRS レース信号『回答旗』の中の「1分」を「40分以降」と置き換える。

### 5. 日程

#### 5-1 レース日程

10月12日(土)	08:00-08:50	プラクティスレース受付
	08:00-16:00	本戦受付
	09:00-09:15	プラクティスレーススキッパーズミーティング
	10:00	プラクティスレースAクラス第1レース予告信号予定時刻
	10:05	プラクティスレースBクラス第1レース予告信号予定時刻
	16:30-16:50	本戦スキッパーズミーティング
10月13日(日)	09:00	本戦Aクラス第1レース予告信号予定時刻
	09:05	本戦Bクラス第1レース予告信号予定時刻
	16:00	閉会式

5-2 各日の2レース目以降の予告信号は、前のレースが終了次第、適宜発せられる。

5-3 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

5-4 プラクティスレースは両クラスとも8レース、本戦は両クラスとも6レースを予定している。

5-5 プラクティスレースは15:10を越えて、本戦は14:10を越えて予告信号が発せられることはない。

### 6. クラス旗

6-1 国際OP級Aクラス	白地に赤字でOPの形象
国際OP級Bクラス	海陽ヨットハーバー旗

### 7. コース

7-1 添付図1の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれそのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

7-2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

### 8. マーク

8-1 マーク1、2、3Pは、数字入りのオレンジ色円筒形ブイ、3Sは数字入りの黄色円筒形ブイとする。

8-2 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇と、ポートの端にあるオレンジ色円筒形ブイ、フィニッシュ・マークはスターボードの端にあるレース委員会艇とポートの端にある球形ブイとする。

### 9. スタート

9-1 レースは、RRS26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前としてスタートさせる。

9-2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタート・マークの間とする。

9-3 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければ

ならない。

- 9-4 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。これはRRS A4を変更している。

## 10. スタート後の短縮または中止

- 10-1 レース委員会は、RRS32.1以外に、レースの公正に影響を及ぼすような大幅な風向の変化、レースを続行することが困難な風速の低下、または先頭艇が50分以内にフィニッシュ出来ないと判断した場合、コースを短縮またはレースを中止することがある。このレース委員会の措置について、艇からの救済の根拠とはならない。これはRRS62.1を変更している

## 11. フィニッシュ

- 11-1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークの間とする。

## 12. タイムリミット

- 12-1 先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後、10分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』と記録される。これはRRS35、A4、A5を変更している。

## 13. 抗議と救済要求

- 13-1 抗議書は、管理室にあるレース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。
- 13-2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時間は、最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 13-3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後20分以内に通告を掲示する。審問は管理室横にある談話室にて、受付順に始められる。
- 13-4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 13-5 クラス規則、指示9-3、15-1、15-2、15-3及び15-4の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これはRRS 60.1(a)を変更している。  
これらの違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が決めた場合、失格より軽減することができる。

## 14. 得点

- 14-1 本レガッタが成立するには、4レースを完了させることを必要とする。
- 14-2 5レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。  
5レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

## 15. 安全. 識別

- 15-1 出艇する競技者はその都度、レース・オフィス前に用意される出艇申告書に署名しなければならない。
- 15-2 帰着した競技者はその都度、レース・オフィス前に用意される帰着申告書に署名しなければならない。
- 15-3 レースからリタイヤする艇は、出来るだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 15-4 レース委員会、プロテスト委員会は、競技者や艇が危険な状態であると判断した場合、救助及び必要な処置を行う場合がある。これにより救助及び処置されたことは、艇による救済の要求の根拠とならない。これは、RRS 62.1(a)を変更している。
- 15-4 Bクラスに出場する艇は、受付時に配布されるリボンをマストトップに付けなければならない。

## 16. 賞

- 16-1 各クラスとも、1位から3位に賞を与える。その他、主催団体より特別の賞を与えることがある。

## 17. 責任の否認

- 17-1 このシリーズの競技者は自分自身の責任で参加する。  
シリーズの主催団体は、シリーズの前後、期間中に生じた物理的な損害又は身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 18. その他

- 18-1 ゴミはレース委員会艇に渡すことができる。
- 18-2 シリーズ期間中の映像、写真及びシリーズの成績は、主催団体のHPにアップされる場合がある。